

長野県森林づくり県民税アンケート調査結果について

森林政策課

1 概要

森林づくり県民税に関し、県民、企業、市町村、市町村議会に対して、アンケート調査を実施した。

県民、企業からは、継続に賛成する回答が7割を超える結果となった。

2 アンケート調査の概要

(1) 調査目的：森林づくり県民税に対する県民等の意向を調査分析し、「みんなで支える森林づくり県民会議及び地域会議」等において、今後の森林づくり県民税のあり方を検討する資料とするため。

	県民	企業	市町村 市町村議会
調査方法	郵送配布・回収	郵送配布・回収	メール配布・回収
調査期間	H29.6.15～7.11	H29.6.9～7.11	H29.6.9～7.18
調査対象	県民3,000人	企業100社	77市町村、77市町村議会
回答者	996名(33.2%)	県内企業41社(41.0%)	66市町村(85.7%) 70市町村議会(90.9%)

3 アンケート結果の概要

(1) 現在の森林づくり県民税活用事業のうち、大切な取組について(複数回答)

区分	1位	2位	3位	4位	5位
県民	間伐 61.8%	市町村が行う森林づくりへの支援 57.4%	木材利用の促進 33.8%	人材育成 23.0%	間伐材の搬出 21.7%
企業	間伐 65.9%	市町村独自の森林づくりへの支援 61.0%	木材利用の促進 34.1%	間伐材の搬出 24.4%	・水源林の取得 ・人材育成 ・技術指導 19.5%
市町村	間伐 84.6%	市町村独自の森林づくりへの支援 84.6%	間伐材の搬出 56.9%	木材利用の促進 24.6%	木育活動 15.4%
市町村議会	間伐 77.1%	市町村独自の森林づくりへの支援 75.7%	間伐材の搬出 52.9%	木材利用の促進 27.1%	・技術指導 ・木育活動 15.7%

※市町村が行う森林づくりへの支援 … 松くい虫被害対策、獣害対策を目的とした緩衝帯整備、景観整備等

(2) 平成30年度以降の森林づくり県民税の継続について

(単位：%)

区分	継続賛成			計	継続反対 継続すべきではない	分からない 無回答
	現行のまま継続	新しい取組内容を加えて継続	全く新しい取組として継続			
県民	24.8	43.4	4.3	72.5	8.0	19.5
企業	29.3	43.9	4.9	78.1	0.0	22.0

※市町村については、市長会等から既に継続要望があるため、調査していない。

(3) 森林づくり県民税を継続した場合の税額等について

(単位:%)

区分	現行を超える金額			500円 (現行)	300円	その他
	1,000円より 高額	1,000円	計			
県民	5.2	18.5	23.7	56.9	4.5	14.8
市町村	0.0	3.1	3.1	81.5	4.6	10.7
市町村議会	0.0	4.3	4.3	72.9	10.0	12.9

区分	現行以上の率			5% (現行)	3%	その他
	10%より高 率	10%	計			
企業	0.0	7.3	7.3	68.3	7.3	17.0

(4) 森林づくり県民税を継続した場合の期間について

(単位:%)

区分	6年以上	5年(現行)	5年未満	その他
県民	26.5	47.6	7.8	18.1
企業	17.1	51.2	17.1	14.6
市町村	4.6	87.7	1.5	6.2
市町村議会	7.1	80.0	7.1	5.7

(5) 森林づくり県民税を継続した場合、新たに税を活用すべき取組について(複数回答)

区分	1位	2位	3位	4位	5位
県民	幅広い森林整備 69.0%	身近な森や緑の整備 39.7%	公共施設等の木質化や木育活動 32.8%	地域の木材の活用 30.6%	観光地等の景観整備 20.7%
企業	幅広い森林整備 70.7%	身近な森や緑の整備 48.8%	公共施設等の木質化や木育活動 34.1%	観光地等の景観整備 29.3%	・森林づくりの計画策定 ・木材の利用促進 26.8%
市町村	観光地等の景観整備 64.6%	木材利用のための間伐 55.4%	災害防止のための計画的な間伐 50.8%	公共施設等の木質化や木育活動 26.2%	身近な森や緑の整備 26.2%
市町村議会	災害防止のための計画的な間伐 57.1%	木材利用のための間伐 50.0%	観光地等の景観整備 35.7%	地域で行う森林の利活用 32.9%	・公共施設等の木質化や木育活動 ・身近な森や緑の整備 31.4%

(6) 森林づくり県民税を継続した場合、森林づくり推進支援金について

(単位:%)

区分	現行と同じ税収の2割程度	現行を超える割合				その他
		3割程度	4割程度	5割程度以上	計	
市町村	41.5	23.1	12.3	10.8	46.2	12.3
市町村議会	40.0	21.4	11.4	12.9	45.7	14.3

【参考】 県民アンケート 自由記載欄

【森林税継続に賛成】

・森林の整備は大切だと思います。自然豊かな長野県にとって、森林税の継続は必要。期間を設けることで一度見直しをし、県民にこうして意見を求めていく形で存続していくべきではないでしょうか。

【活用方法】

・住まいの近くに森林があり、木が混み合っ、暗くなっており土砂災害が心配。災害が起きる前に森林税を活用して手入れができたらと願っています。

・山全体が松くい虫の被害にあっています。持ち主も年を取り自分達ではどうしよもなく放置状態になっており早急の伐採が必要です。枯れ木が倒れたり土砂災害の恐れがあります。

・間伐された木材をストーブの薪などに利用するなど、販路開拓を進めるとともに、個人有林は個人で間伐や管理できるように勉強会を実施するなど、税に頼らない方向へとなるように望みます。

・林業を指揮できる人材、育成が少ない。森と里山の区別をつけ、動物が里山に入らないよう、森を豊にしてほしい。

【普及啓発】

今回のアンケートをきっかけに森林税による取り組みが、分かりました。普段からあまり身近に感じていませんでしたが、森林税を活用した取り組みをもっとPRしてよいと思います。

【森林税継続に反対】

・継続ありきではなく、不正を確実にチェックできる体制を整備する事が優先だと思う。現段階では自分の生活にどの程度関係しているわからない。

【適正な執行】

・有意義に使われる森林税であれば、負担しても納得できる。この度のような不祥事が起きると、負担はしたくありません。